

2008年度

英米文学科 卒業論文題目一覧

- | | |
|--------|---|
| 中尾 茉 裕 | ピジン英語の現状と今後の課題 |
| 原田 智 美 | 『エドウィン・ドルードの謎』と監獄 |
| 吉田 圭 造 | 日系カナダ人のアイデンティティ—Obasanにおける沈黙と記憶、そして歴史 |
| 江畑 裕 実 | 『老水夫の詩』における目覚め |
| 大野 舞 子 | Historical Significance and Problems of Samuel Johnson's <i>Dictionary</i> : Its Contribution and Reassessment to Modern Dictionaries |
| 川口 愛久美 | 『夏の夜の夢』における「シェイクスピア的機能」—グレゴリー・ドーランの演出に探る |
| 清水 慧 | 「無」への航海—『白鯨』における世界の境 |
| 中川 由樹子 | 『風と共にさりぬ』—示された道標 |
| 長村 紗智子 | <i>The End of the Affair</i> に潜む神—罪の男女への赦し |
| 南條 恵 | Emma Lazarusの詩から考えるユダヤ人の将来—アメリカのユダヤ人へのメッセージ |
| 林 奏 美 | 「永遠」に閉じ込められた少年—J. M. バリの描いた悲哀と憧憬 |
| 久野 涼 子 | <i>A Tree of Night</i> における分身と主人公の未来 |
| 廣田 真 紀 | 孤独な闘い— <i>The Awakening</i> における死をめぐる |
| 山本 幸 | ピグマリオン・コンプレックスの諸相—疑似恋愛を求める男たち |

英米文学専攻 修士論文題目一覧

萩原 真也	A Study of William Faulkner: Social Changes and Family Dynamics in the Early Works
坂本 桂	A Study of Flannery O'Connor: A Writer and the Southern Race Issues
鈴木 愛美	A Journey to the Centre of Me—The Home and the Female Characters in Three Novels by William Faulkner
田村 光生	Women in Democracy
大西 寿明	Alienated from the Modern Age: The Problem of Exile in Evelyn Waugh's Novels
佐藤 洋子	Feste on the Stage: How to Direct and Harmonize Him

英米文学科／専修・立教英米文学会 活動報告

立教英米文学会

2008年12月6日 川崎 淳之助（英文学者・元立教大学教授）
 <講演会> 「マキャヴェリアン・ヴィレン再考」

HP開設のお知らせ

英米文学専修では2007年7月よりHPを開設しました。
 卒業生からのメッセージや学会からのお知らせ、過去の紀要の目次や論文題目などが掲載されています。
 アドレスは以下の通りです。多くの皆様からのアクセスをお待ちしております。
<http://www.rikkyo.ne.jp/grp/dealcar/>